



円安を変える処方箋は？

円安は留まるところ
を
知り
ませ
んね。
10月25日に外国では
一時
ドル
50円に。

投機筋は為替市場で

円やドルを變則的に売
買して、為替レートを
變動させ儲けることを
狙う。それを阻止する
のが為替介入だ。

しかし、現在の為替
介入の効果は一時的だ。
何故なら今の円安が
投機による一時的な物
ではないから。

アベノミクスで・・・

日本は超低金利政策。
低利の資金が国内の設
備投資に向かえば、仕
事も増え、物も売れ、
経済が回る。

ところが外国に投資
して得る配当等は税制
上優遇されるから、低
金利で得た資金は外国
に投資された。だから
欧米のような景気過熱
は起きない。賃金も上

がらないから大会社の
内部留保は増え、約五
百兆円に。配当で大金
持ちは益々金持ちに。

欧米は低金利時代の

資金は国内に投資。そ
れで景気は過熱、賃金
も上がった。それを抑
える為、金融引き締め
で金利を上げている。

当然、高金利を狙い、
資金は円からドル、ユー
ロに流れる。そこでド
ル、ユーロが高くなり
円安になっているのだ。

円安を止めるには

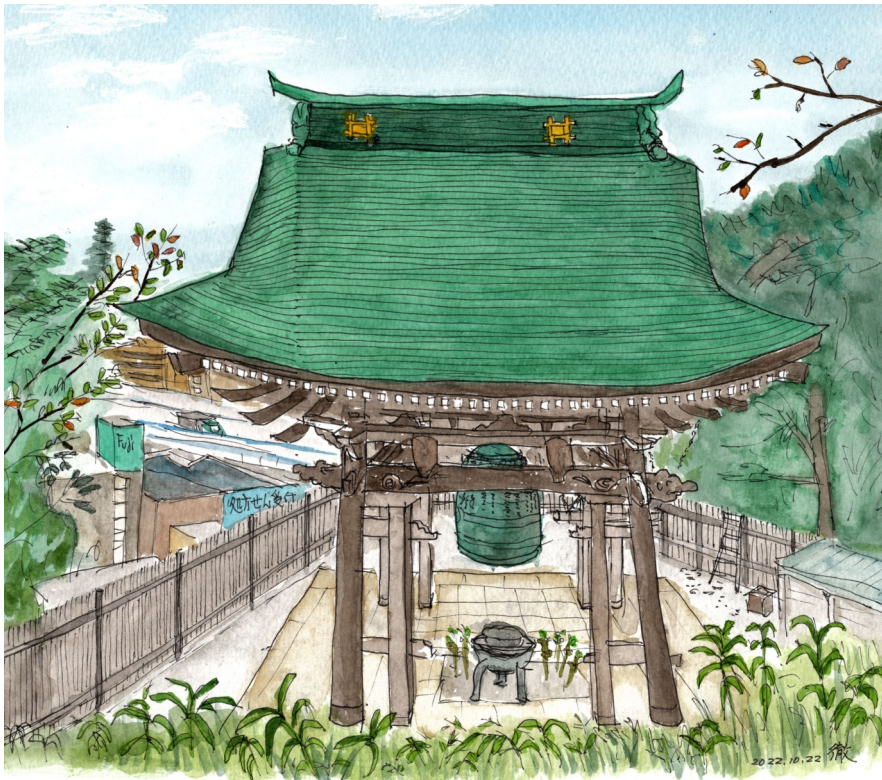
これまでの説明でお
分かりだろう。国内の
設備投資を増やし、国
内の仕事を増やし、物
が作られ、売られ、経
済が回るようにする事
が対策だ。

配当等への税制優遇
を止め、総合課税一本
にすることが必要では？
あなたはこう思われ
ますか？

常照寺の鐘撞堂

横浜市南区南太田一丁目

二〇二二年十月



京浜急行の南太田駅
のすぐ北側にホームか
らは見えないが、常照
寺と云う大きな寺があ
る。

開港で発展著しい横
浜に一八六八年(明治
元年)に千葉の日蓮宗
中山法華経寺の末寺と
して建てられた。曹洞
宗大本山総持寺も明治
に能登半島から横浜に
移転している。

江戸時代大奥に祀ら
れていたという鬼子母
神像を祀る。それで
「南太田の鬼子母神」と
も云われる。

お寺から約十階分の
階段を登ると、日蓮聖
人の銅像の傍に着く。
港の方面まで見渡せる。
その少し手前に鐘撞
堂がある。銅葺きの大
きな屋根が美しい。

一九三五年「横浜貿
易新報」(現神奈川新聞)
の読者投票で県下名勝
史蹟四十五佳選に選ば
れた。

